

校訓 日新

学校教育目標

- ・美しい心
- ・輝く知性
- ・たくましい体

日新



学校だより2月号
令和3年2月25日
都留第二中学校
文責：鬢櫛利和

最後の1か月、有終の美を飾ろう！



2021年がスタートして2か月が経とうとしています。令和2年度を締めくくる大事な3学期も、残り1か月になりました。

3年生は、高校受験に向けて、これまでに経験したことがないくらい勉強に励んでいる毎日です。目標の実現に向けて、さらなる努力を継続してほしいと思います。

1、2年生にとって残り1か月は、進級に向けての準備期間になります。4月のスタートがうまく切れるかどうかは、最後の1か月にかかっていると言ってもよいでしょう。進級した時の自分の姿を今からイメージして、勉強や部活動などに一生懸命励んでほしいと思います。3年生にとっても、1、2年生にとっても、残り1か月の頑張りが、令和2年度の有終の美を飾ることにつながります。また、今のクラスのメンバーで生活できるのも残り1か月です。担任の先生とクラスの仲間と一緒に、最後の1か月をかけがえのない日々にしてほしいと願います。



1年 昼休みにサッカーをする風景



2年 保健委員によるミニ保健指導



3年 レク「ドッジボール」

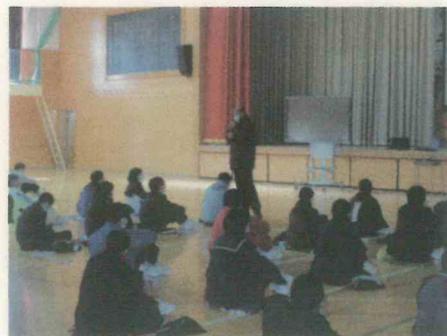
教頭先生が、2年で道徳講話を行いました！

1月29日（金）に本校体育館において、岩澤教頭先生が「社会の正義について考える」をテーマに、2年生全体に道徳講話を行いました。

教頭先生は、本校出身の故山本美香さん（ヒューマンジャーナリスト）と同級生であり、本講話では山本さんの生き方や訴えてきたことを題材に取り上げ、生徒たちは「本当の幸せとは何か。」「私にできることは何か。」などについて、考える時間になりました。

また、山本さんが在籍していた当時、本校に勤務していた古屋豊美先生からも、山本さんの優しさや正義感の強さについての紹介がありました。

生徒たちは、この講話を通して、自分の行動や今後の生き方・考え方について深く考える有意義な時間になったと思います。教頭先生は、結びに「皆さんの先輩である山本さんが伝えようとしてきたことを、これからも忘れないでほしい。」との願いを伝えていました。



岩澤教頭先生による道徳講話

2学年では、2月17日（水）にも助産師の海野聖子さんを講師にお招きし、「いのちの授業」を行いました。海野さんは、誕生学協会認定の誕生学アドバイザーとしての資格を有し、県内各地の小中高の学校で講話を通して活躍されています。生徒たちは、「いのちの授業」を通して、生命の誕生や生命の大切さ等について深く学ぶことができました。地域の方から学ぶとても貴重な時間になりました。



外部講師による講話



本校の課題は、家庭学習の定着です！

今年度の学校評価の結果が出ました。保護者の皆様には、教育活動アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

結果から、本校の優先すべき課題の一つに「家庭学習の定着」が挙げられます。

保護者アンケート「お子さんは、毎日、家庭学習に取り組んでいる。」56.6%（昨年 52.2%）

生徒アンケート「あなたは、毎日、家庭学習に取り組んでいますか。」58.6%（昨年 58.6%）

上記のように、家庭学習の設問では、保護者 56.6%、生徒 58.6%の数値結果のとおり 60%に届かない低い結果になっています。昨年度も、保護者 52.2%、生徒 58.6%でした。

1学期には、感染拡大防止のための長い臨時休業措置があり、家庭学習の重要性が再認識され、本校では、再登校後、家庭学習の定着を図るために、「授業と家庭学習を有機的に結びつける」を校内研の柱に位置づけ取り組んできました。この取組の成果はまだ表れていませんが、今後も本校の優先すべき課題として全職員一丸となって取り組んで参ります。保護者の皆様には、ご理解とご協力をよろしく願います。



1年音楽の授業 琴演奏

後期生徒総会を行いました！



2月2日（火）に、後期生徒総会を行いました。後期生徒総会は、前期と同様に感染拡大防止のため、各学級で討議したことを中央委員会に持ち寄り、代表者による話し合いのかたちをとりました。今回は、一日では終わらず、数日間に渡る討議となり、コロナ禍における生徒会活動の難しさを改めて感じた一年であったと思います。

生徒たちは、生徒会スローガン「績」の下、石花海祭やレボリューション（課題を見つけ改善していく活動）など様々な取組を通して、「自分たちの今の課題は何か？」「今、取り組むべきことは何か？」をみんなで話し合い、自分たちの手で解決してきました。そして、全体でまとまって活動することから、分散して活動することに変えていくなど、新しいかたちの活動にも挑戦してきました。

コロナ禍であっても、生徒たちの強い意志と前を向いて突き進むたくましい姿がたくさん見られた一年でした。



生徒総会の様子（中央は議長）



提案する生徒会執行部



意見を述べる学級の代表者